

供養業界のためのビジネス情報誌

月刊 仏事

4

2010 April
vol. 111

大手互助会VS大手専門葬儀社 トップ対談 葬儀業界の「今」と「これから」を語り合う

㈱サンレー 代表取締役社長 佐久間庸和
 燦ホールディングス㈱ 代表取締役社長 古内耕太郎
 対談テーマ1 消費者変化の注目点
 対談テーマ2 競争環境変化の注目点
 対談テーマ3 葬儀業界・業態の問題・課題点
 対談テーマ4 葬儀業界・企業はこれからどうあるべきか



お盆特集2010

盆商戦を成功に導く
小売店の販売戦略

「お盆に取り入れたい」商品も紹介



●石材店の問題解決戦略

湘南造園㈱

中国との直接取引断行で
高品質石材の安定供給を実現



●寺院の新たな供養システム

日蓮宗 大法寺

「行き場のない遺骨」を引き取り合祀墓
に埋葬し、戒名も授与する新システム



藤を編みこんで作る環境に優しい棺

藤棺～シムビオシス～

(株)シムビオシス

エコロジー商品の輸入・販売の株シムビオシス（兵庫県西宮市、小林望社長）の、藤（ラタン）製のエコロジー棺、「藤棺～シムビオシス～」が注目を浴びており、この4月からはさらにサイズバリエーションも増えるという。

藤を編みこんで作るこの棺は、製作工程も、一つひとつが職人の手によって編み込まれ、内部の装飾に至るまですべてが手作りとなっているため、従来の棺では実現できなかった優しい曲線も可能となった。そのフォルムは洋花とのアレンジもしやすい。「棺の周りを花で飾りたい」という遺族の気持ちに応えられるだけでなく、白木の祭壇でも大切な人とのお別れの場を華やかに彩るとともに、遺族たちの心を癒すという。

また、環境面でも、材料が3～5年で製品化が可能なる状態にまで成長することから、製造に当たって森林伐採をすることがない。成長の早い藤は、芽生え

てから成長してゆく過程で「光合成」を頻繁に行い、さらに燃焼時に使用するエネルギーも低減できることから、地球温暖化防止にも役立つという。

●問い合わせ先

(株)シムビオシス

TEL：0798-38-3188 FAX：0798-38-3199

URL：http://www.symbiosis-eco.jp/

E-mail：info@symbiosis-eco.jp



洋花とのアレンジもしやすく、遺族の心を癒す



地球温暖化防止にも役立つエコロジー棺

大切な遺影を永遠に

フォトセラミック

東京ザイジェン(株)

メモリアル・デコの東京ザイジェン(株)（本社：東京都府中市、青木久明社長）は、陶板で作る遺影写真、「フォトセラミック」を新発売した。

「フォトセラミック」は、大切な故人の写真を陶板に印刷することで、半永久的に保存するという



額装仕上げとなっている「フォトセラミック」。データだけでなく、古い写真からも作成ができる

もの。写真データを釉薬顔料で陶板に高温焼成する最新のフォトセラミック製法を用いている。

その特徴は、表面は陶磁器と同様、高温で焼かれたガラス質となっているため、丈夫で傷がつきにくい。また、独自の技術によりインク

ジェット方式での印刷を可能にしたため、高画質のものを焼き物に再現できる。従来の紙焼き写真やタイルなどと異なり、屋外で直射日光や風雨にさらされたとしても、色褪せることがないという。

陶板のサイズは25cm×25cmのものと同様に11cm×11cmの2種類で厚みは0.3cm。もとなる写真は、紙焼きやネガフィルムでも対応可能。仕上がりはモノクロやセピア色で、写真を受け取ってから3日ほどで出来上がるという。

同社では葬儀のアフターサービスなどで利用することで、他社との差別化にもつながるとしている。

●問い合わせ先

東京ザイジェン(株)

TEL：042-319-9152 FAX：042-319-9153

URL：http://mosaic-japan.com

e-mail：info@mosaic-japan.com